

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施期間	平成19年度～平成23年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	ひだがわ 飛騨川森林計画区 (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署												
完了後経過年数	5年	管理主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、飛騨川森林計画区の下呂市を含む1市2町1村に所在する23,952haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、岐阜県の中央東部に位置し、森林率86%と高い地域でヒノキを主体とした人工林が多く、人工林率が71%と高くなっている。</p> <p>銘柄材「東濃檜」の主要な生産地でもあり、木材の持続的な供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、北アルプス南端の霊峰御嶽山などの山岳や飛騨川の渓谷美等の優れた自然景観に恵まれた地域であることから、レクリエーションの森など、森林浴やスキー、登山等保健休養の場としても広く国民に利用されるなど観光資源としての特性も兼ね備えている。</p> <p>さらに、中京圏の重要な水源地として国土の保全、水源涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っている地域である。</p> <p>このため、本事業は、計画区内の国有林野の有する水源涵養機能、山地災害防止機能や保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、間伐等の森林整備を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の改良等を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>29ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,607ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.1km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,912,989千円</p>			森林整備	更新面積	29ha		保育面積	2,607ha	路網整備	開設延長	0km		改良延長	9.1km
森林整備	更新面積	29ha													
	保育面積	2,607ha													
路網整備	開設延長	0km													
	改良延長	9.1km													
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成29年度時点における費用対効果分析結果は以下のとおりである。</p> <p>森林整備及び路網整備に関して、予算の効率的な執行に努め適切な森林整備を行ったものである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、事後評価で算出した総便益又は総費用との間の差異については、林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総便益(B) 17,749,432千円 (事業採択時：2,360,182千円) 総費用(C) 4,417,823千円 (事業採択時：301,331千円) 分析結果(B/C) 4.02 (事業採択時：7.83)</p>														
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施を通じ、更新作業、保育作業等の森林整備により、水源涵養機能が保たれたことにより渇水被害も無く、山地災害防止機能により大規模な山地災害の発生が抑止できたことから、森林の公益的機能の維持増進が図られている。</p> <p>また、林道の改良工事を実施したことにより、これまで通行できなかった林道が大型車両も通行可能となったことにより、現地までの到達時間の短縮や林業機械の輸送コスト等の縮減が可能となり、森林整備経費の縮減が図られてい</p>														

	る。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備された森林は、継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。</p> <p>また、路網についても多数の路線（19路線）を管理しており、間伐等の事業を実施する際には、草刈りや路面の整備等が施工され、維持管理状況は良好である。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により、重視すべき機能（水源涵養等）の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。</p> <p>また、路網整備により森林整備等の施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等により、間伐による木材供給も増加しており、近年需要が伸びている合板用材としてのカラマツ原木の地域への安定供給にも繋がっている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本森林計画区の交通網は、国道41号線が、南北に縦断しており、中京経済圏と北陸経済圏を結ぶ主要な役割を果たしている。また、これらと国道256号線、257号線、361号線及び主要地方道等が密接に連絡していることから、地域の産業経済活動の基盤となっており、県内外から保健休養の場等の提供として広く利用されているとともに、人工林資源が成熟し、利用時期に達しているものが増加している。</p> <p>本森林計画区における人口は、平成18年度には約147千人であったが平成28年度には約138千人と減少しており、林業就業者数も同様な傾向にあるが、人工林における伐採量の増加が見込まれる。こうした状況の中、森林環境保全整備事業の実施を通じて、林業事業者における木材生産の生産性向上が図られ技術力も向上している。このように量的及び質的な面で地域の林業・木材産業の振興に貢献しており、事業の必要性は依然として変わりはない。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の持続的な発揮、木材の安定的供給等を図るため、周辺環境に配慮しつつ、地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画に基づき着実に森林環境保全整備事業を実施する必要がある。</p> <p>森林整備事業の低コスト化やニホンジカ等による食害防止対策を推進するとともに、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行いつつ、地域の木材需要にも積極的に応えていく必要がある。</p> <p>（岐阜県）</p> <p>適切な事業実施により、木材の安定供給がなされるとともに、水源涵養や山地災害防止といった公益的機能の持続的発揮に寄与していると認識している。</p> <p>また、本県では、第3期岐阜県森林づくり基本計画に基づき主伐・再造林を推進しているが、施業の低コスト化や獣害対策については大きな課題であることから、国有林と民有林が一層連携して取り組んでいく必要がある。</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備事業の積極的な実施により、水源涵養や山地保全、木材生産等の森林の持つ多面的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 水源の涵養、国土の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の持続的な発揮に寄与するとともに、木材の安定供給に関する地域の要請にも応えており、事業の必要性は認められた。 ・ 効率性： 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良、森林整備実施箇所へのアクセスの向上、森林整備における効率化等によりコストの増加は抑えられている。 <p>また、更新、保育作業等の森林整備事業においても、植栽本数</p>

や下刈回数の削減を図るなど事業の効率性が認められる。

- ・有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林整備実施箇所へのアクセスの向上及び木材の輸送コスト等の削減が図られるとともに、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、有効な事業であったと認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：飛騨川森林計画区

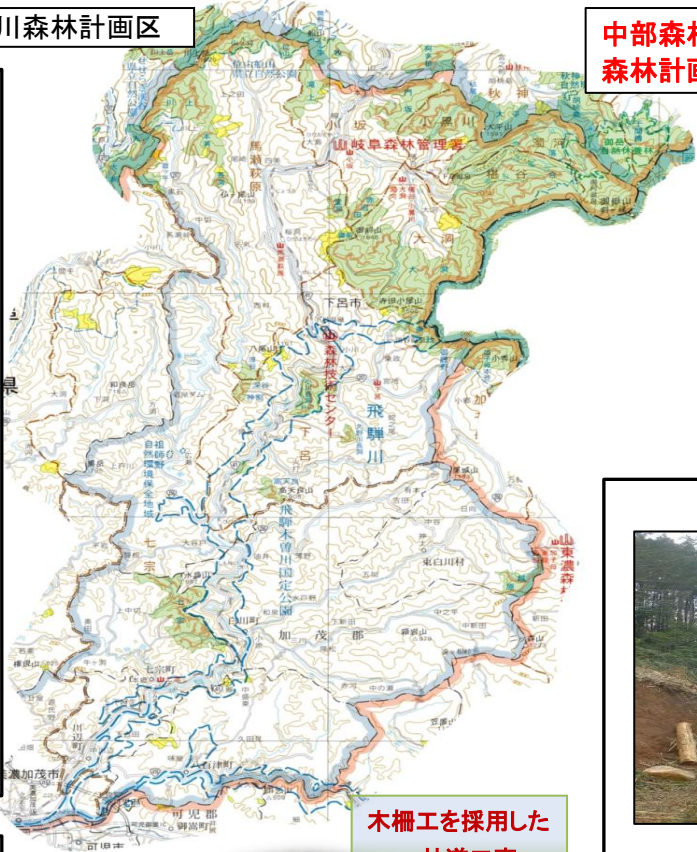
都道府県名：岐阜県
 (単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,310,501	
	流域貯水便益	1,739,816	
	水質浄化便益	3,776,415	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,985,867	
環境保全便益	炭素固定便益	1,215,517	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	67,060	
	木材生産確保・増進便益	1,654,256	
総 便 益 (B)		17,749,432	
総 費 用 (C)		4,417,823	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{17,749,432}{4,417,823}$		= 4.02

森林環境保全整備事業 飛騨川森林計画(岐阜県) 事業概要図

飛騨川森林計画区

中部森林管理局管内
森林計画区位置図



木柵工を採用した
林道工事

